

り、教学部門の根幹に属するものであることを考えると、大学の自殺行為に近いといえよう。

(3) 平成30年度入試における他の得点調整について

ア 一般入試における得点調整

(ア) 個別の得点調整

平成30年度一般入試において、佐野氏子息以外に下記5名への加点が確認された⁴⁵。

| 受験番号 | 氏名 | 属性 | 加算した点数 |
|------|------|------------------|--------|
| ●●● | ●●●● | ●●●●●●●●●●●●●●●● | 49点 |
| ●●● | ●●●● | ●●●●●●●●●●●●●●●● | 48点 |
| ●●● | ●●●● | ●●●●●●●●●●●●●●●● | 32点※ |
| ●●● | ●●●● | ●●●●●●●●●●●●●●●● | 15点 |
| ●●● | ●●●● | ●●●●●●●●●●●●●●●● | 10点 |

※ さらに、補欠の繰り上げ合格者を選定する際に、より点数の高い者数名を飛び越えて、繰り上げ合格とした。

(イ) 属性による得点調整

平成30年度一般入試においては、二次試験の小論文において、属性による得点調整が行われた。その手法は、まず、小論文の点数(満点100点)に、全員0.8の係数をかけ(満点は80点になる。)、そこに、受験生の属性に従い、次の加点を行うというものであった。

- | | |
|--------|-----|
| ① 現役男子 | 20点 |
| ② 1浪男子 | 20点 |
| ③ 2浪男子 | 20点 |
| ④ 3浪男子 | 10点 |
| ⑤ 4浪男子 | 0点 |
| ⑥ 女子 | 0点 |

これにより、4浪男子及び女子(現役・浪人問わず)は100点満点を取っても80点の得点しか得られなかったこととなる。

⁴⁵ 当委員会は、東京医大から提供された資料に基づいてこの表を作成したが、当該資料が最終版のものかどうかは確認できていない。

② 第2次試験合否の再判定と追加合格者の判定

(受験生の一切の属性を不記載とした資料を使用)

1) 一般入試 (募集人員75名)

判定対象人数 (入試当時の最低繰上合格順位)

| 合格者 選定名簿 | 旧名簿 | 新名簿 |
|-------------|--|--|
| 平成29年度 | 146位 (151名) 男 96名 (63.6%) 女 55名 (36.4%) | 145位 (151名) 男 85名 (56.3%) 女 66名 (43.7%) |
| 平成30年度 | 226位 (230名) 男 187名 (81.3%) 女 43名 (18.7%) | 226位 (240名) 男 158名 (65.8%) 女 82名 (34.2%) |

平成29・30年度入試 意向確認対象者の内訳

| 区分 | 意向確認対象者 | | | 意向確認対象者の全員が 入学意思を表明した場合の 追加入学者の予測値 |
|--------|---------|----|----|--|
| | 男性 | 女性 | 計 | |
| 平成29年度 | 一般 | 13 | 13 | 14 |
| | センター | 3 | 0 | 3 |
| | 推薦 | 0 | 3 | 3 |
| | 計 | 16 | 16 | 20 |
| 平成30年度 | 一般 | 13 | 38 | 26 |
| | センター | 4 | 5 | 8 |
| | 推薦 | 1 | 8 | 9 |
| | 計 | 18 | 51 | 43 |
| 計 | 一般 | 26 | 51 | 40 |
| | センター | 7 | 5 | 11 |
| | 推薦 | 1 | 11 | 12 |
| | 計 | 34 | 67 | 63 |

PRESS RELEASE

報道関係者 各位

M1.STAGE

2018年8月8日
株式会社エムステージ

医師の65.0%が東京医科大学の女子一律減点に「理解できる」
当事者である医師の諦めの声を緊急調査

女性医師のワークライフを応援するWEBマガジン「joy.net (<https://www.joystyle.net/>)」を運営する株式会社エムステージ（東京都品川区、代表取締役社長：杉田 雄二）は、医師に対して東京医科大学の女子一律減点に関するアンケート調査を実施しました。

■ポイント

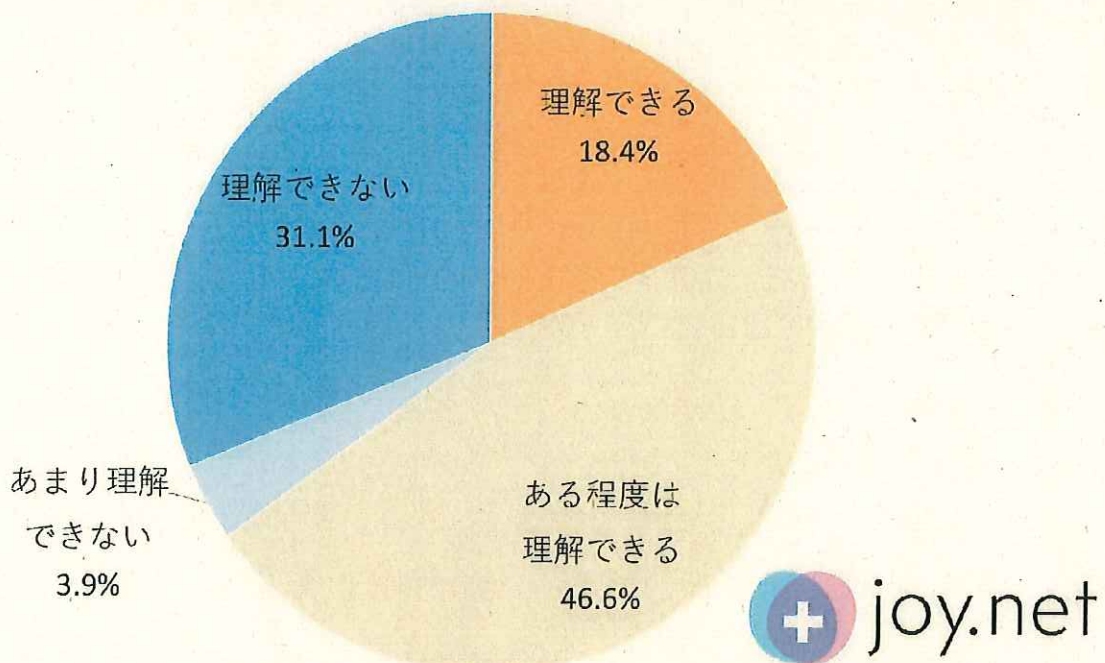
- ・東京医科大学の女子一律減点に「理解できる」「ある程度は理解できる」とした医師は65.0%
- ・一定の理解を示す医師の中には、周りに負担をかけているため仕方ないという諦めの声が多数
- ・妊娠・出産・育児を経る医師が働き続けることのできない医療現場に課題がある
- ・今後医療業界に必要なことは、根本的な働き方改革

■調査結果

<1>東京医科大学の女子一律減点に「理解できる」「ある程度は理解できる」とした医師は65.0%。

Q. 東京医大の入試において、女子を一律減点していることについてご意見をお聞かせください。

東京医大の入試において
女子を一律減点していることについて



「女性排除男性の命も削る」

東京医大不正

医学部入試で女子受験生の点数を一律に低くし、合格しにくくしていた東京医大の問題は、出産や子育てで働けない時期のある女性医師を敬遠する医療界の差別的な体質が浮き上がった。「女性の排除は、働き方改革を妨げ、男性の命にもかかわる」。十九年前に小児科医の夫を過労自殺で亡くし、現在は講演活動などに取り組む中原のり子さん(仮名)＝東京都中央区＝は警告する。

(柏崎智子)

過労自殺医師の遺族警告



「女性を排除する環境は危険」と警告する中原のり子さん(東京都中央区)

女性医師次々去り負担集中



勤務医として働いていた中原利即さん

中原さんの夫、利即さんは一九九九年八月、勤務する都内の病院の屋上から飛び降りた。四十四歳だった。遺書には「人手不足のため三千時間以上連続勤務となる当直を月に数回こなす疲弊の蓄積や、女性医師が増える中で、結婚・出産の際に他の医師に比べて負担が放り置かれている状況への苦悩がこぼれていた」。

六人の小児科常勤医のうち、男性は利即さん一人だった。部長代理になった同年二月、前部長の六十代の女性が定年退職。三月には五十代で当直もこなしていた女性医師が、両親の介護と両立できず、病室を去った。

追い打ちをかけたのは、半

あきらめ？ 減点「理解」65%

東京医科大が入試で女子受験生を一律減点していた問題に、医師界が反発している。医師界の代表団体「日本医師会」は、東京医科大の「減点」を「理解」する医師が65%に達したと発表している。

調査は、問題発表後の全月三十分から六日までインターネット上を実施し、男女百二人が回答。一律減点に「理解」する医師が18.4%、「ある程度は理解できる」が40.6%

医師ネット調査 「根本的な改革必要」

「あまり理解できない」は3.0%、「理解できない」は31.1%だった。

アンケートの自由記述では、得点操作に理解を示した人が「男性医師が深夜まで働いたり当直の肩代わりをするなど、現実の負担増を考えると必要悪として気持ちは分かる」(放射線治療男性)「家

六人から三人となり、利即さんの当直は月八回に、心身の状態が悪化し八月、「仕事を辞めたい」と家族に頼らした。退職を病院へ伝える」と約束し出勤した十時間後、身を投げた。

中原さんは「女性医師が働き続けられぬ職場では、男性医師が馬車馬のように働かされている。入試で女子受験生を排除したのは、医師の働き方を変えざるを得ない証拠」と話す。

さらに「東京医科大だけの問題ではない」と指摘。利即さんの死後、医師になった長女の智子さん(仮名)は「父は医学生として迷走をかけたから、三つ折け」といふ暴言も送られた。のり子さんも「東海湯死を考える家族の会」共同代表として各地で講演する中で、女性医師の悲鳴のような声を聞く。埼玉県のある二十代の小児科医は「一人の子どもの命を預かるが、私自身も命を持つところか結婚させられぬ労働環境」と打ち明けた。

のりさんは訴える。「入試不正の問題が明らかになったのを機に、男性も女性も使い倒す働き方を本気で改善してほしい。それが夫の願ひだ」と訴える。

入試差別救済 弁護士団が発足

東京医科大の不正入試に、救済の救済を図るべく、女性差別を根絶しようとする女性を中心とした全国五十七人の弁護士が二十一日、「医学部入試における女性差別対策弁護団」を発足させた。二十五日午後一、四時にはポットラインを開設し、相談に応じる。

不利な得点操作がされてきた女性と二割以上の男性の元受験生を対象に、ポットラインを通じて被害者の発掘を進めた上で、それだけの希望に沿って成績の開示や受験料の返還などを東京医大に求める。不利な得点操作で不合格となったことが判明した場合、入学金の付与や賠償金の請求も検討していく。

東京都内で記者会見した角田由紀子、打越さくら両弁護士は「性別で差別憲法に反する」と訴え、私立であっても国から助成を受け存在する大学の自治や自主性を踏まえても、性別のみを理由とした差別として許されない」と批判した。その上で、医科大に對し、得点操作の結果、不合格となった女子受験生を擁護し、調査し謝罪するべきだとした。文部科学省にも再発防止策を勧告するよう求めた。

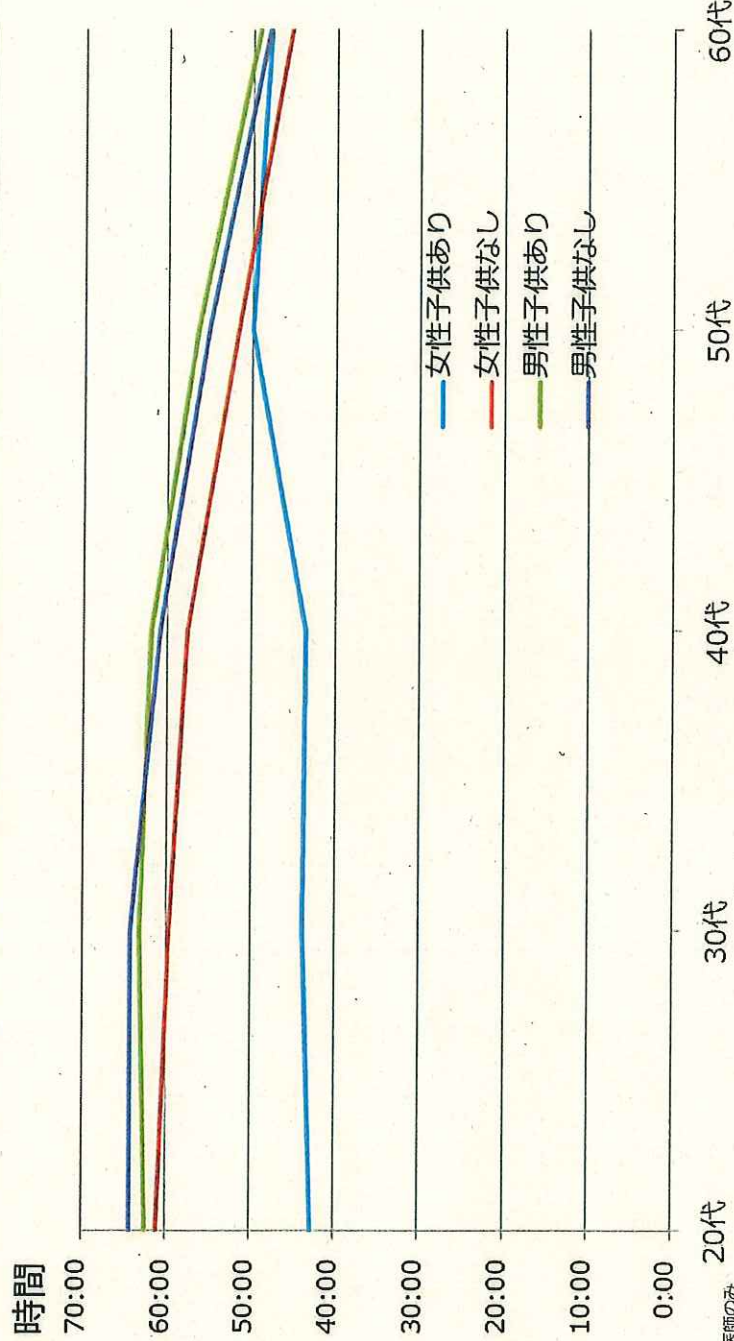
共同代表は「日本社会から女性差別を根絶しようとする以上、この問題」と指摘した。「不意打ちであり、得点操作を公表してはなかったこと」も問題」と指摘した。設立準備段階で、三人の元受験生と接点があったと見、会見では、東京医大を今年受験し得点操作が判明している二次試験で不合格となった女性の声を紹介し、「努力を重んじれば公正、公平に判断してくれるを願っていた。精神的なショックは大きい。云々」と語り上げた。ポットラインの番号は、04(4)31-3541。メールでの相談は、igakuh.sabeis@egm.nil.com (井上直史)



記者会見する対陣弁護団共同代表の角田由紀子弁護士と、打越さくら弁護士(21日、東京、龍が岡の文部科学省で)

性別・子供の有無別の年代別週当たり勤務時間

- 20代～40代の子供のいる女性医師の勤務時間は他と比較して短いが、50代以降はその他の区分と同程度の勤務時間となる。
- 子供のいる女性は、50代から勤務時間が増加するが、その他の区分は、年代が上がるにつれ勤務時間は短くなる。



※ 病院勤務の常勤医師のみ

※ 診療時間：外来診療、入院診療、在宅診療に従事した時間。 診療外時間：教育、研究、自己研修、会議・管理業務等に従事した時間。 待機時間：当直の時間（通常の勤務時間とは別に、院内に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う時間。 実態に患者に対して診療等の対応を行った時間は診療時間と見なす。）のうち診療時間及び診療外時間以外の時間。 勤務時間：診療時間、診療外時間、待機時間の合計（オンコールの待機時間は勤務時間から除外した。 オンコールは、通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対して診療等の対応を行うこと。）

※ 「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成